

鹿県北部豪雨

不明男性遺体で発見

死者5人に 住家浸水59棟

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。



林田 義治さん



千代田 新一さん



鹿野川が暴走した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

鹿野川は鹿野川川沿いの住宅が浸水した。24日、鹿野川が暴走した。行方不明になっていた男性の遺体が発見された。遺体は、今朝の大雨をきっかけに、川に流された。

「元の暮らし早く」

暴れる水

「水が流れてくるのが怖い」と。距離約10キロ離れた川上地区で発生した水害。被害は住民の生活に大きな影響を与えている。水害発生から1週間が経ち、被害は拡大している。水害発生から1週間が経ち、被害は拡大している。水害発生から1週間が経ち、被害は拡大している。

高齢集落「人手悩み」



民家前の道路で泥をすくい取るボランティアの高校生
—24日午後9時ごろ、出水市上新南

高齢者が大半を占める集落が、人手不足に悩んでいる。ボランティアの高中生が泥をすくっている様子。

高校生ら320人助っ人

出水

出水市では、ボランティアの高中生が泥をすくっている様子。高校生ら320人が助っ人として参加している。

ボランティア 4市町が拠点

出水市、大分市、佐賀市、熊本市の4市町がボランティアの拠点となっている。

二重生活 眠れぬ夜

湧水

二重生活を送る住民の苦悩。夜も眠れぬ日々が続いている。

466世帯断水給水に列

阿久根

阿久根市では、断水が続いている。給水に列をなす住民の姿が見られる。

出水市、大分市、佐賀市、熊本市の4市町がボランティアの拠点となっている。ボランティアの高中生が泥をすくっている様子。

被災者の生活が徐々に回復している。ボランティアの活動も盛んに行われている。

7月29日

耳遠く勧告の無線聞こえず 浮かぶテーブル上で3時間

高齡者避難 住民協力し相次ぎ間一髪

鹿児島県北部豪雨災害による犠牲者五人のうち三人は六十五歳以上の老年者であった。災害被害といわれる高齢者は心身の状態や周囲への避難などが避難が遅れがちだ。今回も、被災住民が協力し間一髪助け出したケースが相次いだ。暴乱する災害現場で老年者の安全確保が、重い問題が改めて浮き上がっている。

(一重幸雄)

行政に課題突きつけ

雨が降った二十二日、ただならぬ夜だった。午後、さつまいも町の本城 麗美(麗) 夫婦二人暮らしの小田原政康さん(八二)と、妙子(八二)さん(八二)夫婦は、お風呂に浸かっていた。約三時間救助を待った。当初は消防などの避難呼びかけに気づかなかった。二人とも怪は丈夫をほいさない。「どうしようもない」。災害の古縁業(古縁業)に精通する、水に浮かべた戸板に乗り、られ避難所に向かった。二人は町外だし、二人



ボートで救出される女性。豪雨に被災した各地で住民らの連携が奏功した
—22日午後1時すぎ、さつまいも町

の助けで船を逃れた。麗美は「避難をかけるまで、音の聞こえない車がないので助けを求めない」といふ声がかかった。

災害から命を守るには、早めの避難が鉄則だ。だが高齢者の自己責任に任せ、行政には課題があり、自主防災組織の役割にも限界がある。「結果的に無事避難できたが、外に仕事に出ているメンバーもいて助けがなかったのが残念だ。行政の連携が重要だ」。薩摩川内市東郷町神川の自主防災組織リーダー・藤田盛吉さん(八二)は振り返る。

さつまいも町は二十三日の豪雨の際、急ぎよ薩摩川内市の氏名を町内各地に呼び込み、避難救助に協力させた。鹿児島県は単身高齢世帯や高齢世帯世帯世帯が全国一高い。県危機管理課は「今回は地域の方で多くの人たちを救出できたが、人間関係が強い都市部の災害ではどうか。地方も高齢化が進み、効果的な避難対策が重要になる。市町村の連携に呼びかけられている」。

行政も手をこまねいてはいられない。鹿児島県は昨年、独自高齢者や障害者らの避難を支援する備前を策定。市町村に支援計画の作成を求めた。「要援者台帳」を作り、災害時に個別の避難に役立つようという。これまでは避難勧告、いかに安全な場所へ避難かという対策が不十分だった。(危機管理課)との反省に基づき、支援計画は早いすやストレンジャーが必要かどうかや効率的な避難経路などを確認。防災組織などで避難者との担当者を決め、日ごろ人間関係を築くことで、避難勧告に気づかないケースを減らすも狙いだ。「台帳」は災害時、住民の安全確保にも役立つという。

しかし県内で支援計画を作成したのは四ノ宮市、薩摩川内市、南大隅町だけ。五月末現在、鹿児島県は「さつまいも町は二十三日の豪雨の際、急ぎよ薩摩川内市の氏名を町内各地に呼び込み、避難救助に協力させた。鹿児島県は単身高齢世帯や高齢世帯世帯世帯が全国一高い。県危機管理課は「今回は地域の方で多くの人たちを救出できたが、人間関係が強い都市部の災害ではどうか。地方も高齢化が進み、効果的な避難対策が重要になる。市町村の連携に呼びかけられている」。

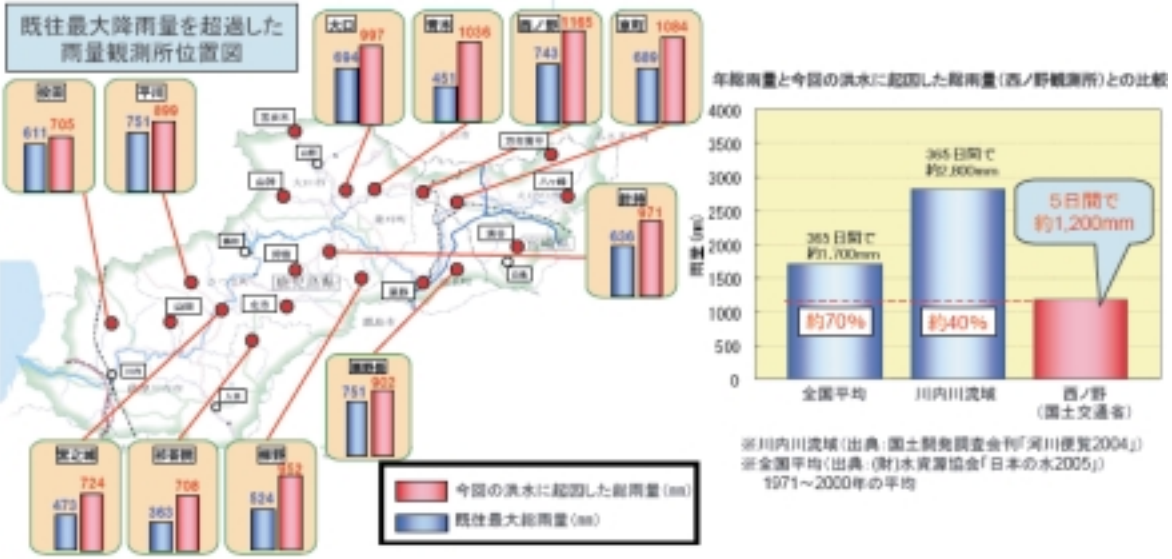
川内川の洪水概要（国土交通省川内川河川事務所作成）

※ 以下の資料は、災害発生直後の速報値及び暫定値である。

降雨状況

■ 20観測所で降雨量が既往最大を超える！

- 川内川流域においては、既往最大の洪水が発生した総雨量を超える雨を、**25観測所中20観測所**で記録しました。
- たった5日間で川内川流域の年総雨量の約40%、全国平均の年総雨量の70%が降ったことになります。



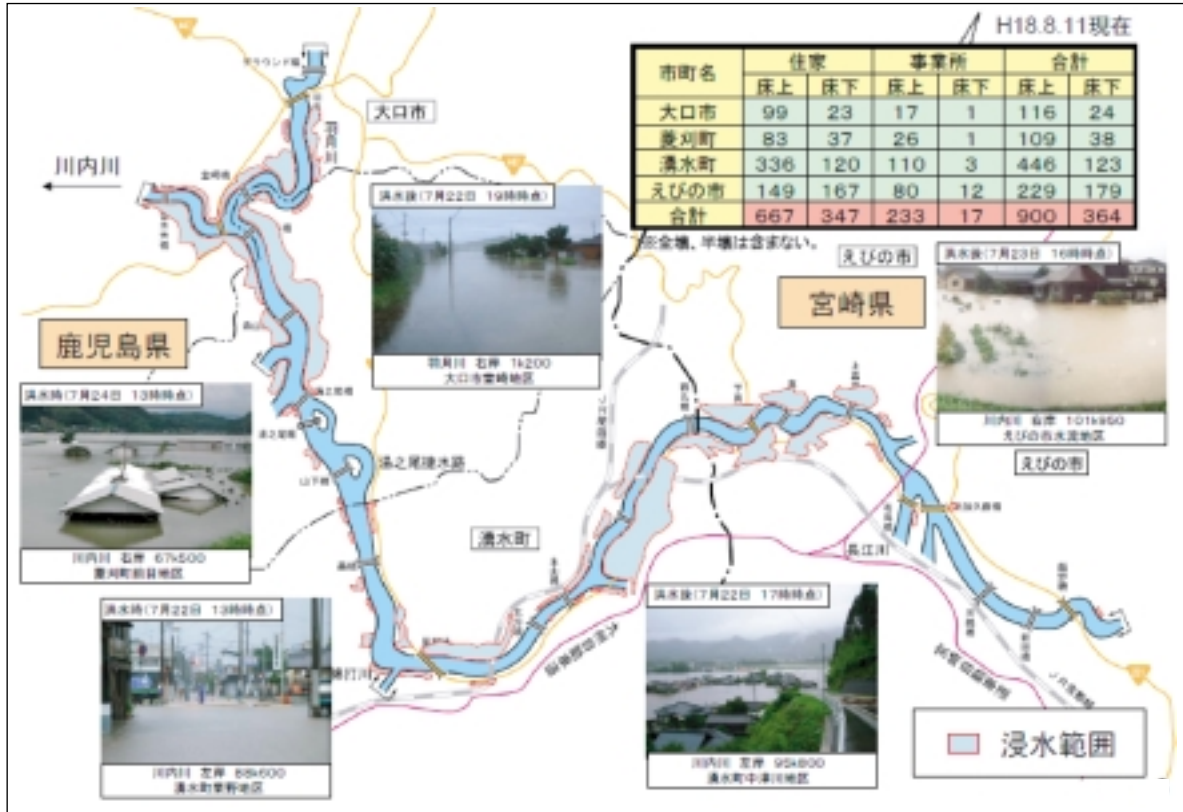
水位状況

■ 11観測所で既往最高水位を記録！

- 川内川流域においては、全水位観測所**15箇所**のうち**11箇所**で既往最高水位を記録しました。



川内川上流域浸水状況



川内川上流域浸水状況



浸水被害状況図

